

テーマ「高次医療・急性期医療」に関する情報シート

高次医療について

高次医療機関とは、「1次医療機関にとっての2次医療機関」「2次医療機関にとっての3次医療機関」を意味し、より専門的な治療が可能な医療機関を指す。

かかりつけ医を受診した患者さんは転送・紹介といった形で、高次医療機関に移る。

- ・ 1次医療：外来で処置が可能な患者に対する医療
- ・ 2次医療：入院治療・手術などを行う医療
- ・ 3次医療：2次医療までで対応できない重篤患者などに対して行う医療

急性期医療について

急性期とは発症や入院から14日程度の病状が安定せず集中的な医療介入を要する時期で、急性期医療は、病気の発症から回復期・亜急性期（身体機能の回復を図る時期）まで移行するまでの期間における医療を指し、

急性期医療は「病気の進行を止める」「病気の回復が見込める目処をつける」までの間提供する医療である。

病院理念

安全で質の高い急性期医療を行います

当院の取り組み等

- ・ 当院は「救命救急センター」「がん診療連携拠点病院」「地域医療支援病院」「災害拠点病院」の指定を受け、愛知県の尾張北部医療圏で急性期医療を担う基幹病院です。
- ・ 地域における高度な医療提供を実現するため、ハイブリッド手術室や手術支援ロボット（ダヴィンチ）、PET-CTなど高度医療機器を積極的に導入するとともに、医療スタッフの技術の向上に向けた取り組みを行っています。
- ・ 手術室では年間約6000件の手術が行われています。全体の約13%を緊急手術が占めており、三次救急として24時間緊急手術にも対応しています。
- ・ 「ダヴィンチ」手術は開腹手術と比較すると、患者さんの体に小さな穴をあけて手術を行うことから、患者さんへの負担が少ないという特徴があります。
- ・ ガンマナイフによる治療は放射線手術と呼ばれ、開頭手術を行わず、脳腫瘍、脳血管奇形、三叉神経痛などの病気を治療するものです。
- ・ PET-CTは、高感度で、「画質」と「定量精度」双方の両立と向上を可能にする画像再構成機能を搭載した最新鋭の装置で、がんの早期発見、良性悪性の判断、がんの部位や広がり

の診断、治療効果の判定、再発や転移の診断、虚血性心疾患の診断、難治性てんかんの診断などに有用です。

- ・当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、「ダヴィンチ」手術や外来化学療法センターでは薬物療法を行うなど、がんの先進医療を提供しています。

- ・当院は DPC 特定病院群適用病院であり、診療密度や高度な医療技術の実施、重症患者に対する診療の実施、等の点において大学病院本院に次ぐレベルの医療機関として認められています。

- ・当院は地域周産期母子医療センターに指定されており、産婦人科、小児科、NICU（新生児特定集中治療室）、GCU（新生児治療回復室）が連携し、リスクの高い分娩に対応できる体制を整えています。疾患をもつ妊婦の分娩、早産児や低出生体重児、治療が必要な新生児などに高度な周産期医療を提供しています。

- ・当院産婦人科では悪性腫瘍疾患に対しては、専門医が中心となり手術および化学療法を行い、良性疾患に対しては症状、薬物療法や手術療法を組み合わせるニーズに沿った治療を進めています。症例に応じて腹腔鏡下手術も導入しており、術後の痛みが少なく、創が小さく、入院期間も短く、早期の社会復帰が可能です。